

大学史資料センター創立10周年記念講演会

私立大学

アーカイブズの未来

学内文書移管を中心に

全国の大学資料館は、アーカイブズへとその機能を変化させることが求められている。これは、社会からの今日的要請であるとともに、大学にも社会に対する「説明責任」を果たすことが求められている証左である。

しかし、「情報公開法」によって説明責任を法的に義務づけられる国立大学とは異なり、私立大学アーカイブズをめぐる制度的基盤はきわめて不完全である。私立大学アーカイブズの今後と可能性、そして進むべき道について、幅広く議論を行いたい。

講演者

浅古弘 (本学法務研究科教授)

石原一則 (神奈川県立公文書館)

西山伸 (京都大学大学文書館准教授)

日時

2008年12月3日(水) 17時～

会場

早稲田大学

120-1号館

201会議室

※入場無料です



東京メトロ
東西線早稲田駅

出口 3a・3b

出口 2

早稲田線